

8月の野菜の見通し

令和元年7月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	8,017		8,965	116	86%	108	-	-	前年は不作であったが、本年産は作柄良好。8月中旬は盆休みで出荷減となり、相場は強含みの展開か。下旬は北海道フェア等の企画も入るため、ある程度引き合いのあるなか、相場保合いでの推移が見込まれる。
キャベツ	17,477		16,096	100	80%	90	-	-	現状では順調出荷となっている。8月上～中旬にかけては、長雨、日照不足の影響で数量減から相場は上昇か。
ねぎ	3,811		4,045	387	88%	325	129	3.4%	関東産の残量があるなかで、北海道、東北産の出荷が始まる。出回り量は平年並みの見込み。盆休み前後には引き合いが高まる予想だが、8月全体では学校給食もなく、荷動きの鈍い展開を予想する。
きゅうり	7,605		7,931	374	80%	314	456	6.0%	東北産は長雨と低温から作柄悪化。7月下旬から8月上旬にかけては、天候回復と気温上昇を受けて全体量も回復。相場は軟調展開が予想される。8月中旬以降は出荷ピーク過ぎて数量減少し、相場は上昇に転ずる見込み。
なす類	4,118		4,102	321	98%	288	10	0.2%	中心産地は群馬、栃木、茨城。各地低温や日照不足による生育の遅れあり。8月の全体量は平年よりやや少なめの予想。
トマト	7,464		9,045	440	73%	318	190	2.5%	7月中旬は低温や日照不足、段変わり等で全体量少ないが、以降は天候回復して数量回復。8月上旬にかけて相場は弱含みの展開が予想される。中旬以降は例年どおりの流れで、出荷最盛期を過ぎて数量落ち着き、相場も上向く見込み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)